

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		小学校管理事務	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備	市民協働	その他
予算科目コード	01-100201-01 単独	根拠法令・条例等	学校教育法，学校保健安全法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 非常勤職員（学校医，学校歯科医，学校薬剤師，学校介護補助員，学校用務員，学校給食配膳員）の報酬等，各種消耗品，光熱水費，通信運搬費，土地賃借料，災害共済掛金等の支出をする。
学校教育法第5条により，学校の設置者は，その設置する学校を管理し，その学校の経費を負担することとされており，学校設置当時の経費で光熱水費等を支出するもので，学校を運営していく上で必要な事業である。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
小学校において，全ての児童が安全で快適に学習できる教育環境の維持を図り，健やかな成長の一助とする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が，安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
特別支援学級児童において，支援を必要とする児童が増加している。	児童の状況に応じ，介助員を増員し対応を図る。（通年）
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
学校介助補助員を増員し，対応を図る。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■ 増加 □ 維持 □ 削減	介助補助員の時給増及び介助補助員の必要数が増える見込みである。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
学校への予算説明会で、財政課の担当職員による市の財政状況の説明と経費節減への理解を求めた。	今年度は、学校への予算説明会を実施しなかったが、予算に関する相談に随時対応した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
児童数（人）	4, 196. 00	4, 212. 00	4, 212. 00	0. 00	4, 212. 00
児童1人当たりの支出額（円）	32, 887. 00	35, 697. 00	35, 697. 00	0. 00	35, 697. 00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	児童の教育環境の確保のために必要な経費で現状を維持するものである。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	来年度は、予算説明会を実施予定のため、学校には予算執行の際の留意事項の再確認や経費節減への理解を求める。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	136,135	132,557	134,871	148,638	148,666
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,857	1,889	1,905	1,928	1,956
	一般財源	134,278	130,668	132,966	146,710	146,710
正職員人工数（時間数）		0.00	186.00	333.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	763	1,365	0	0
トータルコスト		136,135	133,320	136,236	148,638	148,666

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		小学校施設維持管理事業		担当課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間
	施策	学校教育の充実		種別
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備		市民協働
予算科目コード		01-100201-02 単独	根拠法令・条例等	学校教育法，消防法，建築基準法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
学校教育法による小学校の設置時から実施している。	小学校施設の清掃，警備，消防設備及び電気設備（自動ドア・昇降機等）の保守点検，樹木管理，定期調査等を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
小学校施設及び設備を適切に維持管理することにより，児童の安全を確保し，良好な教育環境を保持する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が，安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
経年劣化により修繕が必要な施設，設備が増えている。	施設，設備の不具合状況をまとめておく。（通年） 平成30年度 施設（大規模改修） 御所ヶ丘小校舎（実施設計） 大野小屋内運動場（実施設計） 設備更新 守谷小 保冷库 松ヶ丘小 保冷库 郷州小 避難救助袋 樹木管理 御所ヶ丘小 サクラ
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
施設については修繕が可能なものについては修繕を行うが，大規模改修でないと対応できないことがあるので，改修内容を整理し，大規模改修に備える。 また，設備については，経年劣化により，傷みのひどく，学校生活に支障がでるものについては，順次更新を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	法で規定された業務や必要最低限の修繕工事であるため，削減の余地がない。また，牛乳保管のための痛みがひどい保冷库，避難のための救助袋の痛みが指摘されているため更新を要する。 御所ヶ丘小学校サクラが道路に覆いかぶさるようになり，害虫の落下，枝葉の落下により苦情が寄せられ，剪定が望まれている。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実組（評価、課題への対応）
学校運営に支障が出ないように、適切な維持管理を行う。	点検や学校からの報告を基に、必要な修繕、補修を行い学校運営に支障が出ないようにした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
点検により発見できた不具合箇所数（箇所）	44.00	30.00	30.00	0.00	30.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	点検や修繕により、健全な学校運営が図れている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	法律で定められた点検や老朽化に伴う修繕は必要。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	25,043	29,857	46,471	67,043	45,620
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	57	55	17	17	0
	一般財源	24,986	29,802	46,454	67,026	45,620
正職員人工数（時間数）		0.00	395.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	1,620	0	0	0
トータルコスト		25,043	31,477	46,471	67,043	45,620

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		小学校管理備品購入事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備	市民協働	その他
予算科目コード	01-100201-03 単独	根拠法令・条例等	学校教育法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 児童及び教職員が使用する机・椅子，管理上必要な備品，運動用具等の学校備品整備を行う。
児童の教育環境を整備することを目的とし，学校設置時から机・椅子等の学校運営に必要な管理備品を購入する事業である。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
小学校の各種備品を整備し，小学校の教育環境の整備，充実を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が，安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
学校規模格差により，学校備品の不足，余剰が生じてきているため有効活用を図る必要が生じてきている。	現有状況により，増加校，減少校間で備品の移管を行う。 1 1 月 学級編成に基づき移管計画の作成 3 月 備品移動
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
財産の有効活用を図るため学校間の移管を積極的に行っていく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	老朽による更新の必要があるため。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
学校間での備品移管による財産の有効活用及び統一規格の選定により調達コストの削減を図る。	児童用机天板を交換を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
小学校運営備品購入額（千円）	10,450.00	8,189.00	23,342.00	9,406.00	25,358.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	必要最小限の備品購入である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	学校で必要な備品を計画的に購入していく。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	8,462	8,233	23,254	9,406	9,406
	国・県支出金	0	0	10,900	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	8,462	8,233	12,354	9,406	9,406
正職員人工数（時間数）		0.00	166.00	168.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	681	689	0	0
トータルコスト		8,462	8,914	23,943	9,406	9,406

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		中学校管理事務	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備	市民協働	その他
予算科目コード	01-100301-01 単独	根拠法令・条例等	学校教育法，学校保健安全法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 非常勤職員（学校医，学校歯科医，学校薬剤師，学校介護補助員，学校用務員，学校給食配膳員）の報酬等，各種消耗品，光熱水費，通信運搬費，土地賃借料，災害共済掛金等の支出をする。
学校教育法第5条により，学校の設置者は，その設置する学校を管理し，その学校の経費を負担することとされており，学校設置当時の経費で光熱水費等を支出するもので，学校を運営していく上で必要な事業である。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
中学校において，全ての生徒が安全で快適に学習できる教育環境の維持と健やかに成長することを図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が，安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
学校生活に係る光熱水費の削減	節水等の周知（通年）
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
節水，節電等及び施設維持管理による漏水検査	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☐維持 ☒削減	本年度実施した漏水修理により，光熱水費の削減が見込まれる。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
学校への予算説明会で、財政課の担当職員による市の財政状況の説明と経費節減への理解を求める。	今年度は、学校への予算説明会を実施しなかったが、予算に関する相談に随時対応した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
生徒数（人）	1,768.00	1,897.00	1,897.00	0.00	1,897.00
生徒一人当たりの支出額（円）	32,005.00	33,287.00	33,287.00	0.00	33,287.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	生徒の教育環境の確保のために必要な経費で現状を維持するものである。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	来年度は、予算説明会を実施予定のため、学校には予算執行の際の留意事項の再確認や経費節減への理解を求める。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	53,847	50,442	49,502	56,927	56,922
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	782	818	838	851	846
	一般財源	53,065	49,624	48,664	56,076	56,076
正職員人工数（時間数）		0.00	119.00	272.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	488	1,115	0	0
トータルコスト		53,847	50,930	50,617	56,927	56,922

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		中学校施設維持管理事業		担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実		種別	法定＋任意
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備		市民協働	その他
予算科目コード		01-100301-03 単独	根拠法令・条例等	学校教育法，消防法，建築基準法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
学校教育法による中学校の設置時から実施している。	中学校施設の清掃，警備，消防設備及び電気設備（自動ドア・昇降機等）の保守点検，樹木管理，定期調査等を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
中学校施設及び設備を適切に維持管理することにより，生徒の安全を確保し，良好な教育環境を保持する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が，安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
経年劣化により修繕が必要な施設，設備が増えている。	施設，設備の不具合状況をまとめておく。（通年） 平成30年度 施設（大規模改修） 御所ヶ丘中屋内運動場（改修工事） 設備更新 けやき台中 保冷库 けやき台中 防犯カメラ 守谷中 畳（格技場）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
施設については修繕が可能なものについては修繕を行うが，大規模改修でないと対応できないことがあるので，改修内容を整理し，大規模改修に備える。 また，設備については，経年劣化により，傷みのひどく，学校生活に支障がでるものについては順次更新を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	法で規定された業務や必要最低限の修繕工事であるため，削減の余地がない。また，牛乳保管のための傷みがひどい保冷库，画質も劣化し設備が損傷している防犯カメラ，穴も開き活動に支障をきたしている格技場の畳の更新を行う。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
学校運営に支障が出ないように、適切な維持管理を行う。	点検や学校からの報告を基に、必要な修繕、補修を行い学校運営に支障が出ないようにした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
点検により発見できた不具合箇所数（箇所）	36.00	22.00	22.00	0.00	22.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	点検や修繕により健全な学校運営が図れている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	法律定められた点検や老朽化に伴う修繕は必要。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	14,291	15,027	28,769	39,461	27,027
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	26	26	19	19	0
	一般財源	14,265	15,001	28,750	39,442	27,027
正職員人工数（時間数）		0.00	357.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	1,464	0	0	0
トータルコスト		14,291	16,491	28,769	39,461	27,027

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		中学校管理備品購入事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備	市民協働	その他
予算科目コード	01-100301-04 単独	根拠法令・条例等	学校教育法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 生徒及び教職員が使用する机・椅子，管理上必要な備品，運動用具等の学校備品整備を行う。
生徒の教育環境を整備することを目的とし，学校設置時から机・椅子等の学校運営に必要な管理備品を購入する事業である。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
中学校の各種備品を整備し，中学校の教育環境の整備，充実を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が，安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
学校規模格差により，学校備品の不足，余剰が生じてきているため有効活用を図る必要が生じてきている。	現有状況により，増加校，減少校間で備品の移管を行う。 1 1 月 学級編成に基づき移管計画の作成 3 月 備品移動
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
財産の有効活用を図るため学校間の移管を積極的に行っていく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	老朽による更新の必要があるため。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度を取組（評価、課題への対応）
学校間での備品移管による財産の有効活用及び統一規格の選定により調達コストの削減を図る。	生徒用机天板を交換した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
中学校運営備品購入額（千円）	6,365.00	5,920.00	13,900.00	5,884.00	6,000.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	必要最小限の備品購入である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	学校で必要な備品を計画的に購入していく。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	5,948	5,862	12,605	5,884	5,884
	国・県支出金	0	0	5,594	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,948	5,862	7,011	5,884	5,884
正職員人工数（時間数）		0.00	120.00	124.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	492	508	0	0
トータルコスト		5,948	6,354	13,113	5,884	5,884

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		格技場天井改修事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	平成28年度～平成29年度
	施策	学校教育の充実	種別	法定＋任意
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備	市民協働	その他
予算科目コード		01-100303-07 補助	根拠法令・条例等	学校教育法，建築基準法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
学校施設の耐震化の一環で、非構造部である吊天井の早急な落下防止対策が求められている。	平成28年度 実施設計 工事（当初、平成29年度に予定したが、国補助が認められ、平成29年1月臨時議会に工事費の補正要望，前倒実施） ※吊天井耐震化と照明更新，劣化・破損に伴う床・壁等の修繕，劣化した屋根の改修（御所ヶ丘中学校のみ）
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
愛宕中学校及び御所ヶ丘中学校格技場の吊天井の落下防止対策と維持補修を行い，安全安心な教育環境を確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が，安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
平成29年7月末に事業完了しました。	
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☒ 削減	事業が完了したため，削減となる。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
学校生活に支障がないように工程調整を行い、工事を完了させる。	平成28年度事業（工事）を平成29年度に繰越して実施し、予定通り7月末までに工事を完了した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
改修面積（愛宕中学校）（㎡）	0.00	0.00	496.49	0.00	0.00
改修面積（御所ヶ丘中学校）（㎡）	0.00	0.00	488.55	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	吊天井の落下防止対策や維持補修工事により、生徒に安全安心な教育環境を確保することが出来た。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 ■ 廃止・終了	工事完了			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	0	31,236	47,960	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	31,236	47,960	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	16.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	66	0	0	0
トータルコスト		0	31,302	47,960	0	0

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		御所ヶ丘小学校校舎改修事業		担当課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間
	施策	学校教育の充実		種別
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備		市民協働
予算科目コード		01-100203-01	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和57年建築の校舎で経年劣化や機能低下が著しいため、計画的な学校施設の長寿命化の一環として改修工事を行う。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
建築後30年以上経過した校舎の長寿命化と教育環境の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が、安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
施設整備計画の見直しに伴い，施設の再調査を行う。	平成30年度 実施設計 平成31年度 改修工事
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
改修時期の変更を行い，今年度は実施しない。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■ 増加 □ 維持 □ 削減	確認申請手数料の変更により，増額となった。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実取組（評価、課題への対応）
学校運営に支障のないよう工程調整を行う。	改修時期の変更を行ったため、今年度は実施していない。 平成30年度 実施設計 平成31年度 改修工事

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	実施時期の見直しを行い、平成30年度からの事業となる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	実施時期の見直しを行い、平成30年度からの事業となる。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	0	0	0	34,619	746,313
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	34,619	746,313
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	0	34,619	746,313

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		御所ヶ丘中学校屋内運動場改修事業		担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実		種別	
	基本事業	安全・安心な教育環境の整備		市民協働	
予算科目コード		01-100303-01	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 老朽化した体育館の大規模改修工事の実施設計を平成29年度に行い、平成30年度（予定）に工事を実施する。
昭和60年建築の体育館で、経年劣化や機能低下が著しいため、計画的な学校施設長寿命化の一環として改修工事を行う。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
建築後30年以上経過した体育館の長寿命化と教育環境の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が、安心して学べる環境を整備する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
屋内運動場は授業の他にも、部活動で通年的に使用している。代替施設の確保が必要である。	平成30年度に大規模改修工事を実施するため、改修期間は御所ヶ丘小学校、大井沢小学校を使用し部活動を実施する。 H30, 7月 工事着手 H31, 2月 工事完了
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
近隣小学校の屋内運動場を代替施設として使用する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	平成30年度に工事を実施するため、増額となる。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度を取組（評価、課題への対応）
学校運営に支障がないよう工程管理を行う。	実施設計を計画期間で完了することが出来た。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
進捗率（％）	0.00	0.00	5.00	95.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	実施設計が完了したことにより、第1段階を終了することが出来た。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	平成30年度より工事実施となるので、事業費、業務量が増加する。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	0	0	9,774	209,467	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	9,774	209,467	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	0	0	0
トータルコスト		0	0	9,774	209,467	0